

キャラクター名
タナト

プレイヤー名

シンドローム	オルクス		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	葬儀屋
	パロール					
オプション			年齢	不明	性別	男
覚醒	死	衝動	殺戮	初期侵食率	36	%
出自	使命	経験	煩悶	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	0	1			1	行動値	10
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	10
精神	3	1	2			6	戦闘移動	15
社会	3	0	0			3	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
安らかなる眠り 12	RC	6r+6		0		単体/視界/C値8/次の行動に対しダメージ+[5+侵食ダイス]D/コスト5
哀悼の蝶 123	RC	6r+6		0		単体/視界/801/C値8/次の行動に対しリアクション不可ダメージ+[5+侵食ダイス]D/コスト10
厳粛な誓い 1234	RC	6r+6		0		単体/視界/シナリオ1回・801/C値8/重圧・放心時/次の行動に対しリアクション不可ダメージ+[5+侵食ダイス]D/コスト15

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:調達師	
応急手当キット	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
生還者	P	N		
研究者	P 慈愛	N 憐憫		
死者	P 庇護	N 偏愛		
	P	N		
	P	N		
	P 好奇心	N 憐憫		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定ダイス+Lv個								
オリジン:レジェンド	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: 精神判定+Lv×2								
ハートレスメモリー	1	4	メジャー	視界	単体	RC	RB	
効果: 死者の記憶を呼び出す								
コンセントレイト:パロール	2	2	メジャー		自身	シンドローム	-	
効果: C値-LV(下限7)								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 判定自動失敗								
死神の瞳	3	3	メジャー	視界	単体	RC	-	
効果: 命中時、次の攻撃のダメージを+[Lv+2]D								
悪魔の影	★	5	メジャー	視界	単体	RC	80%	
効果: 命中時、次の攻撃のリアクション不可								
支配の領域	1	6	オート	視界	単体	自動	シナリオ	
効果: ダイス目の一つをを1にする								
縛鎖の空間	1	3	メジャー	視界	単体	RC	シナリオ	
効果: 重圧・放心付与								
ポケットディメンション	★	-	メジャー	至近	-	自動	-	
効果: 空間を作り出す								
仕組まれた幸運	★	-	メジャー	至近-	自身	自動	-	
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

人は死んだらどこへ行く？

蝶の頭と多腕を持つレネゲイドビーイング。棺を背負い、蝶をまわってそこに「存在」している。哀悼者であり葬儀屋、人の死を悼み安らかな死を祈ることが彼の存在意義である。彼自身は攻撃性を持たないが、相手に安らかな眠りを与えるために空間に呪縛し、対象の生命反応を過剰に増幅することにより外部干渉に極端に弱い身体へと作り変える。攻撃の際は手を拳銃に見立てて撃つ仕草をするが、実際の拳銃ではなく、弾も発射されない。対象に蝶が溢れ、哀悼の鐘の音が鳴るのみ。

[その他の設定]
一人称「私」二人称「君」
元ネタ:https://lobotomy-corporation.fandom.com/ja/wiki/Funeral_of_the_Dead_Butterflies

人は死んだらどこへ行く？
ここに入社した職員たちは皆どこへ行ったのだろうか？
— 彼らは自分の家へ戻ったのだろうか。
家族もいる、温かみもある安らげる場所へ...
しかし、誰もが知っているように職員は戻ることができない...
入社した以上、出ることができる方法は「退社」だけだろう。

— 「退社」した職員は彼らの家へ帰ったのだろうか。
望んだものを得て、胸を膨らませて。
私たちは翼の羽毛だ。退社がそう簡単に行くわけがない。
羽毛が自らの意志では離れられないように。役目を終えて初めて抜け落ちるように。